

新宮山彦ぐるーぷ第1861回
**金剛多和水場改修と行仙宿内配線工事並びに
 南奥駆道の春季連休前点検巡視(玉置辻〜上切畑間)**

◇実施日：平成28年03月26日〜27日(日)
 ◇参加者：青木宏充、梶野照雄。
 2名。

3月26日(土)晴れ . **金剛多和水場改修**

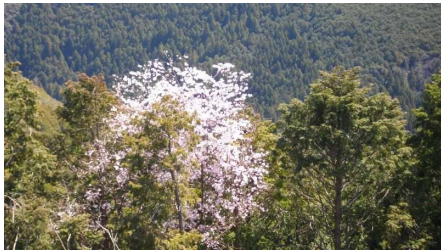
27日に行仙小屋の発電機による照明のスイッチを付け替える予定をしていたが、青木さんから「26日に金剛多和の水場改修を手伝ってほしい」と連絡があり、26日から出かけることになった。道の駅「奥熊野古道ほんぐう」で待ち合わせ、山在峠まで行った。

早朝は気温が低く、防寒対策をして行ったが、登るにつれて強烈な日差しになり、一枚、また一枚と上着を脱いでいかなければならないことになった。

木々の中の山桜があちこちで花を咲かせ、小鳥のさえずりも春を感じさせる。



山在峠で



あちこちで桜が



金剛多和水場の標識

汗を拭きながら登ること1時間ちよつとで、金剛多和の水場に着いた。奥駆道に立てられた案内標識に「水場3分」とあったので計ってみたら、ちょうど3分だった。近い。



水場に到着



放置丸太を手すりに



水中セメントで

結構流れている。持経の水場のような岩盤を伝い落ちる状態だが、持経の平板な岩に比べて、こちらは中央が少しくぼんだトコ状になっている。そのため全体の水流が中央に集まり水量は多い方である。標高574mの低山にしては、異常に水量が多いとも言えるだろう。

流れに降りるときに手掛かりになるものを作ろうと、放置された間伐材を鉄橋に沿わせて谷に渡す。谷筋の岩は、全体に苔が付いて滑りやすい。ワイヤーブラシでこすって、水をかけてセメントがなじみやすいようにする。土囊で上流をせき止めたが、完全には止まらず、置いたセメントがすぐに流されてしまう。練ったセメントをしばらく放置して、固まりかけたところに置いてみると、流される量が減って作業が進んだ。持ってきた4kgのセメントを全部使ったところで作業終了。金剛多和まで行って山在峠まで引き返した。



土嚢でせき止め

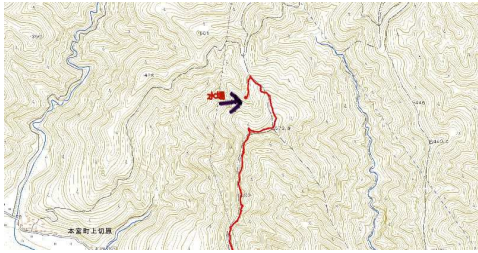


岩で足場を作る



金剛多和で

山在峠からはR168、R425白谷トンネル経由で、行仙宿補給路登山口へ向かった。また汗をかきながらゆつくりと登る。55分かけて行仙小屋に到着、先に到着していた青木さんがストーブに火を入れ、夕食の準備を始めてくれた。



金剛多和の水場



寄贈の鉄杭



水、カセットガスなど

小屋内には、電源開発(株)様寄贈のカセットガスや水、木炭など、西側の軒先には鉄杭の束が置かれていた。鉄杭は1.2mが30本、1.5mが30本あり、これだけでも相当の重量である。鉄杭は昨年「ホテル浦島」での祝賀会の際に提供を打診したところ、快くお引き受け下さったもので、予想していたよりも長いものを寄贈していただいた。これで旧通信道の補修がかなり進むと思われる。電源開発(株)様には心よりお礼申し上げます。夕食の準備ができるまでに、2月に作っておいた発電機の台を組み立てる。ほぼ組みあがったところに「出来たで！」と青木さんから声がかかり、2人で食事する。食後、青木さんに手伝ってもらって、発電機を乗せ換える。床が水平ではなく多少不安定だが、次回床を水平にして安定させた。21時30分、就寝。

3月27日(日)晴れ後小雨 ・ 行仙宿内は配線工事等

午前5時起床、小屋内温度は4℃。外気温は2℃だった。



午前6時青木さん行仙出発



配線工事中



村吉さん来宿

青木さんはパンとコーヒで食事後、午前6時玉置辻へと出発する。午前6時30分からカップ麺とチンしたご飯で朝食をとり7時から配線工事を始める。午前8時過ぎにドアが開き「こんにちはー」と誰かが入ってきた。村吉さんだった、非常食の点検、補充に來られたそうだ。雨が降る前に持経宿・平治宿も済ませると、10分ほど降りて行かれた。



2灯だけ移設



発電機台



水場はポタポタ

配線工事は最初、スイッチの付け替えだけ、と思っていたが途中で2灯増設に変更、9時前にVAケーブルが無くなってしまい作業終了、工具を片付けて水場に降りてみる。水場の水流は細っていた。ポタポタと滴り落ちている程度で、溜まっている水で取水可能だが、今後の天候次第で枯れることが予想される。

小屋に戻り下山しようとしたら青木さんから電話があり「今、五大尊に着いた、上切原は13時ごろ」と連絡があった。

R425を浦向まで降りて不動トンネルを越えて「道の駅おくとろ」で温泉に入り、少し早いがカレーを食べて本宮へ向かった。上切原には12時40分ごろに着く予定だったが、少し迷って25分ほど遅れてしまった。

青木さんを拾って玉置辻へ向かう。いつ来ても玉置山の山の上りは勾配が急だ、エンジンの音が気になる。玉置辻で青木さんは自車に乗り換え、2台で玉置神社の売店へ行き、うどんを食べながら3日の打合わせをする。

食べ終わって、トイレに行つて駐車場に戻ると、青木さんの車はもう走り去っていた。「せつかちやなー」と売店のご主人と話をすると、「青木さんはいつもあんなんや、これもっていきー」とみかんを一袋頂いた。

行動タイム

3月26日(土)

奥熊野古道「ほんぐう」10:20→10:37 山在峠 10:40→11:59
金剛多和水場 14:00→金剛多和→14:11→15:10 山在峠 15:20
→17:00 行仙補給路登山口→18:00 行仙小屋

3月27日(日)

07:00 作業 09:15→水場→09:55 行仙小屋 10:05→登山口
10:30→11:15 道の駅・おくとろ 11:50→13:10 上切原→13:
55 玉置辻→14:00 玉置神社売店

(記 梶野)

3月27日(日) ・南奥駈道の点検巡視(玉置辻〜上切原)

行仙小屋を午前6時に出発、登山口6時半、R425、21世紀の森経由で玉置辻に向かう。玉置辻には7時30分に到着。準備をして7時45分に歩き始める。15分ほど歩いたところに太い倒木あり、ノコでは切除できずチェーンソーが必要。処理は本隊にお任せしたい。



玉置辻で



切除できなかった倒木



ここは頭上で問題なし

8時25分旧筱尾辻、8時45分大森山着、9時三角点、9時30分切畑辻、10時ちょうど五大尊着、10時10分五大尊発。
11時5分金剛多和、その後水場で補修個所の確認と後始末、水量は昨日と変わらず。水止めに使った土嚢を丸太の両端に置いて重石にする。今後の水量の変化に注目したい。



水流を集めた部分



セメントを打った部分

水場を11時30分に離れ、上切原は12時45着
小雨が降り出したのでカッパを着込んだがすぐに止み、結局雨具は必要なかった。

(記 青木)